



Beach Tennis

ビーチテニス

スピーディな展開を楽しめる
エキサイティングな競技

ビーチテニスはパドルと呼ばれる特殊なラケットを使い、バドミントンのようにネット越しにボールを空中で打ち合う競技。浜松では約10年前から始まり、日本チャンピオンの高橋友美選手をはじめ、全国で名をあげるビーチテニスプレイヤーが誕生している。市制100周年を迎えた際には浜松の舞阪海岸で記念大会が開催され、県内外から多くの人が参戦。テニス経験の有無に関わらず非常に始めやすく、身体への負担も少ないため子どもから高齢者まで楽しめる。浜松のビーチは漂流物が少なく、砂が柔らかいためビーチスポーツに適している。この好環境を生かしてビーチテニスを普及させ、新たなスター誕生に期待したい。

PICK UP!

ビーチテニスの一流

ビーチテニス全日本チャンピオン
高橋友美さん



2009年から2014年の6年間、連続して日本ビーチテニスツアーランキング1位を獲得。ビーチテニスの魅力と楽しさを伝えたいと、ビーチクリーン活動や毎月子どもから大人まで参加できる体験スクールを開催。地元で活動を積極的にいながらも、日本だけでなく海外で行われる大会にも多数出場し、世界チャンピオンを目指している。



川北光記さん

年間で約20試合、全国各地で開催される大会に参戦。日本ランキングは6位。昨年もITF国際大会やJTA国内大会で優勝。試合のない週末は1日5~6時間ほど練習し、平日は仕事と両立しながら、基礎トレーニングに励む。目標はランキングを上げ、世界にチャレンジしていくこと。そして浜松でのビーチテニスの普及活動に努めることだ。



サーフィン

日本の真ん中。西からも東からもサーファーが訪れる遠州灘

晴天率が高く、遠州灘のロングビーチが連なり、絶好のサーフスポットが多く存在する浜松。アクセスが抜群で県外から毎週通う人もいるほど。その波質は非常に良く、一年を通してサーフィンを楽しむことができる。オリンピック競技種目になったことで、さらに人気を高め、サーフィン人口は増加している。一方、人口が多くなればなるほど、ケガや事故が起これないよう海でのルールや規律が重要だ。地元のサーファーたちは、サーフィンというコミュニティを通して、マナーを当たり前に守る文化の継承と、海を美しく保つクリーン活動に励んでいる。

PICK UP!

サーフィンの一流 鈴木満彦さん

遠州灘でサーフィンを始めて41年、毎朝海に通い続けている鈴木満彦さんは今年で62歳。国内外のさまざまな海を経験してきたが、どこよりも遠州灘の波は自分の体に合うという。「ゴミを広げない心を広げたい」と、毎年子どもから大人まで200~300人を集めてビーチクリーンを行う。マリンスポーツをする者としての心得を次世代に伝えていくことこそ、遠州灘を愛する長寿サーファーとしての使命だと考えている。



選層のお祝いに、サーフィン仲間から真っ赤なボードをプレゼントされた鈴木さん。

大会の開会式には「ボール投げ」が恒例。今年のテーマを声にあげ、ラグビーボールを一齐高く上げて幕開けする。2018年の大会は、6月16、17日にToBio南側(海岸)で開催予定。



一般的なラグビーとは異なり、攻撃時に1回だけボールを前に投げて良いというアメフトのようなルールで、5人対5人で戦う。両手で相手の体を5回タッチすると攻守交代。相手のゴールにボールを持ち込むと得点になる。



PICK UP!

ビーチラグビーの一流

田代剛さん(静岡県ビーチラグビー協会 会長)

日本チャンピオンの経験を持つ田代さんは、旅行会社の社長を務める傍ら、現役選手としてチームを牽引。また静岡県ビーチラグビー協会の会長でもあり、他地域とのパイプ役となっている。「ビーチラグビーを通して観光誘致や地域おこしに貢献していきたいです。ビーチラグビーというコミュニティで職場以外での人とのふれあいや活躍のシーンを提供していきたい」と語る。



ビッグゲームフィッシング

Big Game Fishing

海岸からわずか6~7マイル沖合で200kgを越える巨大カジキを釣る



PICK UP!

ビッグゲームフィッシングの一流

岡浩さん(Sea Net浜松 理事長)

Sea Net浜松は3つの指針(①地球環境の保全。②子どもたちの健全な育成。③健全なスポーツフィッシング普及)を掲げて活動している。カジキ釣り大会を中心に、親子釣り体験教室や浜名湖獲れたて市の開催など、スポーツフィッシングを通して、浜名湖を全国にアピールしている。



Beach Rugby

タックルの代わりに相手の体をタッチ
豊かな地域と心を育てるビーチスポーツ

ビーチラグビーは1990年に誕生した日本発祥のビーチスポーツ。浜松では約15年前から行われるようになり「ビーチラグビー東海大会実行委員会」が設立された。2012年には「静岡県ビーチラグビー協会」が発足。浜松の舞阪海岸で行われる大会は毎年2000人以上が集まる規模に成長した。激しいタックルがないうえ、砂の上でプレイするので倒れても安全。男性だけでなく若男女問わず気軽に楽しめるスポーツだ。浜松に近接するエコスタジアムで開催される2019年ラグビーW杯の機運に乗り、ビーチラグビー界の動向や発展にも注目していきたい。